

# チーム えがお

【学校教育目標：たくましく生きる児童の育成】

やさしい子 ・ 考える子 ・ 元気な子 ・ やりぬく子



発行者：校長 岡田 達也



～ 園が お かが やき かんばる 学校 困う えんだん 「チーム北川」 ～

## 学芸会に向けた練習

## 本格化!



先週から11月21日(土)の学芸会に向けた練習が本格的に始まりました。子どもたちは、やる気満々で練習に臨んでいます。学芸会は、学習指導要領の「特別活動」の文化的な活動に位置付けられた行事です。その「ねらい」は、「児童が学校生活を楽しく豊かなものにするため、互いに努力を認めながら協力して、美しいもの、よりよいものをつくり出し、互いに発表し合うことにより、自他のよさを見付け合う喜びを感得するとともに、自己の成長を振り返り、自己を伸ばそうとする意欲をもてるようにする。また、文化や芸術に親しみ、美しいものや優れたものに触れることによって豊かな情操を育てる。」というものです。

こうしたことから、本校では、①みんなで考え表現する喜びを味わわせる(創造する喜び)、②その過程で、友達と協力することや責任をもって取り組むことの大切さを学ぶ、③自分だけではなく友達のがんばりや他学年の発表のよさを認め合う態度を育てる、ことを意識して指導しています。併せて、学芸会の劇や合奏、合唱では、一人一人の出番と居場所を大切にしたいと考えています。本番で使用する小道具等の作成についても、同様です。一人一人に役割が有り、どの子も欠かせない「主役」です。このことは、本年度のテーマ『学芸会でみせますよ 124色の北川魂』にも表れています。



また、子どもたちの意欲を高めるために、各学年で一人一人のめあてを掲示したり、雰囲気盛り上げる掲示をしたりしています。保護者の皆様には、衣装の準備等でたいへんお世話になりますが、どうぞよろしくお願ひいたします。ぜひ、ご家庭でもお子さんから学芸会の練習を話題にしていただき、本番に向けて励ましていただければと思っております。



## 自分たちで学校生活を豊かに!

## 「委員会活動」

子どもたち自らが学校生活を豊かにする上で欠かせないのが、「特別活動」です。具体的には、学級活動、児童会活動、クラブ活動、学校行事があります。児童会活動の中に、高学年の子どもたちが取り組んでいる委員会活動があります。

特徴を簡単に言えば、ア) 集団活動である、イ) 自主的な活動である、ウ) 実践的な活動である、と言えます。つまり、楽しく豊かな学校や学級生活を実現するために、子ども自らが問題を見つけ、解決の方法を話し合い、友達と力を合わせたり、役割分担をしたりして、その解決に向けてみんなで取り組んでいくことが重要です。



保健委員会の子どもたちは、教員の指導のもと踊り場掲示板に、「歯と目を大切にしよう!」というコーナーを作りました。ただ掲示するのではなく、クイズ形式を取り入れたり、標語を募集したりするなど、みんなが歯や目を大切にしようという意識を高めることができるよう工夫していました。こうした子どもたちの自治的で地道な活動が、豊かな学校生活を支えています。